

## 春日部市の 学校給食について



鈴木 一利  
議員

本市は「おいしい給食のまち、かすかべ」として、3年連続で文部科学大臣賞の受賞校が輩出されるなど、模範となる取り組みを行っています。

そこで、6月は「食育月間」となっていることもあり、本市での食育における、学校給食の位置付けと取り組みについて伺います。

また、給食費に対する就学援助の活用など、給食費の納付に対する取り組みについて伺います。

### ○学務指導担当部長

学校教育において、給食は食に関する指導を効果的に進めるための重要な「生きた教材」として活用しています。

例として、児童・生徒による給食野菜の皮むき体験や、自らが育成、収穫した野菜を食する実践活動など、各学校で工夫を凝らしています。

また、給食献立も、各地の郷土料理や地元農産物を生か

すなど、食育の視点による献立作りに取り組んでいます。

給食費では、保護者に「学校給食申込書」の提出をお願いしており、納付についても同じ書面に明記しています。

未納が生じた場合では、保護者に手紙や電話、訪問などで納付のお願いをするとともに、状況に応じて就学援助を勧めるなど、各家庭に沿った丁寧な対応を行っています。

### このほか

○出生届記念品贈呈事業について

○春日部市におけるアクティブラーニングの推進について



給食の大量調理を想定した調理実技研修の様子

## ビッグデータ・ オープンデータ



荒 寛美  
議員

IT技術は、あらゆる領域で活用される万能ツールとして、新たなサービスやビジネス、社会的課題の解決に貢献することが期待されており、近年では、ビッグデータやオープンデータの推進が図られています。

また、オープンデータに取り組む意義として、透明性や信頼性の向上、国民参加、官民協働の推進、経済の活性化、行政の効率化などがあります。

そこで、以下伺います。

①本市における、ビッグデータ・オープンデータに関する取り組み

### ○ビッグデータ・オープンデータの活用に対する考え

①本市の各種計画策定時には、これまでに蓄積したデータを活用しています。また、「春日部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定でも、国から提供されているビッグデ

ータを活用しています。

オープンデータについては、新しいサービスの提供や、行政課題を解決するツールとして期待できるため、かすかべ未来研究所において調査研究に取り組んでいます。

②ビッグデータの活用は、新たな価値を創造する大きな可能性があり、本市も総合戦略や各種施策の推進に活用したいと考えています。

オープンデータの提供は、市民参加・官民協働の推進につながるため、先行事例を参考に、計画的に取り組みたいと考えています。

## 日本一子育てしやすい 春日部へ、保育所 待機児童の解消を



並木 敏恵  
議員

「保育所落ちた、日本死ぬ」というインターネットへの書き込みなど、保育所待機児童の解消は、本市でも早急な抜本的対策が必要です。

そこで、最初に本市の待機児童の現状と対策を伺います。また、特に不足している0、1歳児の待機児童解消へ、公立

保育所の増設が必要と考えますが、年度末の待機児童ゼロに向けた市の考えを伺います。

### ○子育て支援担当部長

平成27年度の待機児童数は、年度当初3人、年度末156人です。156人の年齢別の内訳では、0歳児122人、1歳児26人、2歳児5人、3歳児1人、4歳児1人、5歳児が1人となっています。

これまで、平成21年度から27年度にかけて認可保育所などの定員数を590人増やし、そのうち3歳未満児は334人増えています。今後も認可保育所と幼保連携型認定こども園を主体として、待機児童の解消に取り組んでいきます。

公立保育所の整備については、「春日部市子ども・子育て支援事業計画」などに基つき、今後の保育の見込み量、待機児童の実情などを総合的に勘案したうえで判断していく必要があると考えています。

○市長  
引き続き、保育の質の向上を図りながら、まずは年度当初の待機児童ゼロを達成したいと考えています。

このほか

○交通弱者をなくす交通政策づくりを住民参加で

### 第三次春バス運行計画と豊春駅の結節について



水沼日出夫  
議員

現行の春バスにおける増戸・豊春駅路線と豊春駅との結節状況では、豊春駅南バス停から豊春駅東口へ乗り継ぎで歩くと出くわす、駅通り踏切際の厳しい横断問題が横たわり、春バス新規路線が乗り入れを画す豊春駅西口も、駅前広場どころか送迎用の車留めも無い中での結節計画作りとなっております、先行きがとても心配です。

そこで、公共交通同士の結節機能の強化による利便性向上と、駅を拠点としたまちづくりの観点から、第三次春バス運行計画における、増戸・豊春駅路線、および新規の豊春駅・内牧・北春日部駅路線と豊春駅との結節の検討状況と方針について伺います。

○都市整備部長  
第三次春バス運行計画における豊春駅への結節は、現状では駅前広場が整備されていないため、豊春駅東口への春

バスの乗り入れが難しいこと。また、駅周辺道路は踏切に近接し渋滞が発生しやすいと、利用者の安全確保やダイヤ通りの運行が確保できないことから、現行と同様のルートやバス停留所としています。

新規のルートでは、ワゴン車両による北春日部駅西口から内牧公園を経由し豊春駅西口への結節を予定しています。現在、運行事業者の選定を進めており、今後、関係機関との協議を重ね、準備が整い次第運行を開始していきます。

このほか  
○防災行政無線放送について

### 中央通り線整備について



金子進  
議員

中央通り線整備は、おおむね完成に近づいています。現時点での課題と、その取り組みはどのように行っているのか。また、工事の完成の見込みについて伺います。

次に、県道春日部久喜線との交差点は歩道が狭く、前後の道路もカーブしているため、

大変危険な道路となつています。そこで、信号機を設置する考えはあるのか伺います。

次に、次期整備区間である袋陣屋線から神明通りまでは、中心市街地に近いこともあることから、まちづくりの観点から道路の位置付けなどに違いがあるのか伺います。

○建設部長  
中央通り線の供用開始に向けた課題として、国道16号での右折信号機の設置があり、埼玉県警と調整を図り、早期の供用開始に努めていきます。

県道春日部久喜線との交差点に信号機の設置に向け、埼玉県警へ要望や協議を行ってきましたが、交差点の形状や車の流れから信号機設置は難しいとのことから、一時停止の交通処理となっております。

○鉄道高架担当部長  
中央通り線の袋陣屋線から神明通り区間は、「春日部市中心市街地まちづくり計画」において、春日部駅を中心とした環状道路に位置付けています。このため、無電柱化など、防災や景観に配慮した計画としています。

このほか  
○汚泥再生処理センター建設事業について

### 市立医療センターへのアクセス遮断などはなぜか



井上英治  
議員

市立医療センターが開院し、市民が診察を待つ間に市役所へ用事を済ませようとした場合の移動ルートは、市役所東側のスロープしかありません。新病院の駐車場を有料化するために、無料である市役所駐車場を利用させないためなのでしょうか。なぜ、新病院と市役所の境の2カ所に扉やプランターを税金で投入してまで遮断したのかを伺います。

また、新病院は体の弱い方や子ども連れの方も多く利用するのに、駐輪場を1階に設置せず、坂のある地下に設置した理由についても伺います。

○病院事務部長  
市立医療センターと市役所庁舎とのアクセスについては、敷地区分の明確化、それぞれの附帯施設の適正利用、施設内の安全確保を考慮して、検討を進めたものです。

具体的には、消防活動用の通路と通常の出入り口を間違

わないように配慮する意図や、自転車や歩行者との出会い頭の事故を防止する安全面からの判断によるものです。

駐輪場については、院内へのアプローチが最もしやすく、まとまった数の駐車がでる場所として整備をしました。

駐輪に際しご負担となる方には、平面駐輪場を優先的にご案内するとともに、交通誘導員などを配置し、利用者のお手伝いをしながら、来院者の安全利用に努めていきます。

このほか  
○熊本地震災害からの教訓について



市立医療センターの駐車場



## 中学の部活動を より良いものに する ため



古沢 耕作  
議員

中学校における部活動をより良くしていくためには、現場任せではなく、本市としての理念・考え方に基づく共通の活動指針（ルール作り）が必要です。

まず、私は運動部を中心に、各部活のお休みが少な過ぎる傾向があると考えています。先ごろ、文部科学省も中学・高校の部活動の休養日を具体的に設けるよう学校に求める案をまとめ、ガイドラインを策定して初めて基準を示す方針を明らかにしました。

休養日を増やすことで、顧問の先生や生徒たち、そしてお手伝いをいただいている方々の負担軽減につながる。ともに、生徒に関しては、家族と過ごす時間が増えたり、部活動以外の事にチャレンジする時間を確保できるなどのメリットが生まれます。

また、保護者や外部指導者の方々が、さまざまな形で部

活動をサポートしてくださっていると思いますが、その方たちの保険加入の割合が低いなど、安全対策が不十分だと認識しています。

こうした現状を踏まえ、休養日の設定や関係者の安全対策などを盛り込んだ活動指針を早急に策定するべきと考えますが、いかがでしょうか。

### ○学務指導担当部長

国のガイドラインや県教育委員会の通知に沿って、市としての基準を示していきます。

このほか

○あらゆる個性を尊重する市政を



部活動に励む中学生

## 公契約条例の制定を



坂巻 勝則  
議員

地方自治体が発注する事業で働く労働者に、人間らしく働ける賃金を保障するための「公契約条例」の制定を求める動きが広がっています。

その背景には、自治体が発注する工事などにおいて、ダンピング受注の横行などにより、公共サービスの質の低下を招く事態が広がっていることにあります。

建設労働者の賃金は、他産業と比べて極めて低い水準にあります。そのため、若年労働者の減少を招き、技術の継承がされず、産業の存在が危惧される事態となっています。公共工事において、労働者の賃金を制度的に確保するためには、公契約条例の制定が必要ではないでしょうか。

また、その第一歩として、制定を検討する審議会設置に対する市の考えを伺います。

### ○総務部長

本市では、最新の労務単価

を使用し、国や県の積算基準に基づいた適正な価格で一般競争入札を行っています。また、変動型最低制限価格の設定や、賃金の支払いなどについて受注者に周知しています。そして、契約締結後に労務単価が大幅に上昇した際には、迅速に対応しています。

### ○市長

公契約については、法律で定めるべきものであり、条例を制定する考えはありません。よって、審議会の設置も考えてはおりません。

このほか

○投票率引き上げの対策を

## 少子化対策について



斉藤 義則  
議員

厚生労働省が発表した人口動態統計では、平成27年の合計特殊出生率は1.46で前年より上昇し、出生数も5年ぶりに増加しました。その要因は、30、40歳代における出生数の増によるものですが、

初婚年齢も男女ともに上がっており、晩婚化・晩産化の傾

向が見て取れます。

そこで、晩婚化・晩産化の歯止めとして、未婚の若者へ結婚支援を行うことについて、市の考えを伺います。

また、不妊治療に悩む夫婦も多くいることから、7月に開院する市立医療センターにおける不妊治療の実施予定について伺います。

### ○総合政策部長

少子化や人口減は深刻な社会問題ですが、「結婚」や「子どもを持つ持たない」は、人生観や価値観、事情に合わせ、自由に選択されるべきであり、行政による直接的な支援は難しいと考えています。

本市では、「出産や子育てに希望を持てる地域の実現」を目指しており、これに向けた施策や事業を集中的に実施することで、少子化対策を推進したいと考えています。

### ○病院事業管理者

産婦人科医師の拡充により、5月から産婦人科の外来診療を本格的に再開していることもあり、新病院の不妊治療については体外受精や顕微授精以外の実施を予定しています。

このほか

○2025年問題・元気高齢者対策について

**若者サポートステーションとの連携で若者就労支援の充実を**



大野とし子 議員

正規雇用で働いたが、厳しい雇用条件で家庭に引きこもってしまう若者が増えています。若者への就労支援は、市としても重要な課題です。

今年度より、市では「地域連携就労支援事業」を立ち上げました。また、ふれあいキューブには、厚生労働省が取り組む「若者サポートステーション」があります。この2つが連携して、悩む若者へのきめ細やかな支援を推進すべきと考えますが、市の認識について伺います。

また、「若者サポートステーション」と連携し、職場体験などを通じて、若者が自分への気付きを深め、若者同士の交流の場となるような多様な取り組みが必要と考えますが、市の考えを伺います。

**○環境経済部長**

若者に仕事への認識や、働くことへの気付きを促すことは非常に重要です。就職活動

の基礎知識やノウハウを習得させながら、企業訪問の機会を提供するなど、個々の状況に合わせた支援が必要であると考えています。

多くの体験は、業種に応じたスキルや知識の必要性を実感し、自分の適正などを考えるきっかけになると考えています。まずは、市のイベントなどのボランティア活動を取り入れ、状況に応じた事業を展開したいと考えています。

**このほか**

○女性、障がい者、高齢者の立場に立った避難所運営と福祉避難所の充実を

**ペットの殺処分ゼロを目指して**



吉田 剛 議員

近年においては、大型ショッピングモールなどへ行くとペットショップがあり、かわいい子犬や子猫が販売され、ついつい飼いたくなる衝動に駆られます。

しかし、一方では毎年10万匹以上の犬や猫が、さまざまなる理由により殺処分されているという現実もあります。

最近では、殺処分ゼロに関して自ら行動し、達成している自治体も出てきています。

そこで、本市におけるペットの殺処分ゼロに向けて、どのような取り組みを実施しているのか。また、本市の考えを伺います。

**○環境経済部長**

本市における殺処分ゼロへの取り組みは、飼い主のマネー向上を図ることが重要と考えています。そこで、犬のしつけ方教室や、獣医師による飼養の無料相談を実施するだけでなく、ホームページやポスター掲示による啓発などでマネー向上に努めています。

埼玉県では、①飼育放棄する飼い主の説得、②迷子動物の発見支援、③新しい飼い主探し、の3点を重点取り組みとして実施しており、効果を上げています。

本市では、引き続き啓発事業を実施するとともに、埼玉県での殺処分ゼロの取り組みについて、協力していきたいと考えています。

**このほか**

○春日部市商工振興センター（アクシス）の閉館について  
○寄附型自動販売機について

**水害対策について**



山崎 進 議員

近年の異常気象は、毎年のように大きな災害をもたらしています。毎年のように繰り返されるということは、異常ではなく、常態化していることとなります。なかでも、ゲリラ豪雨や大型で強力になった台風など、局地的な集中豪雨が増加しています。

本市も、幹線道路の通行止めや、家屋の浸水被害など、たびたび被害が出ています。こうした浸水被害の軽減を図る「100ミリ安心プラン」の計画によって、被害の軽減が見込まれますが、今後10年をかける計画となっており、即効性のある対策が必要です。

例えば、将来的に武里地区の中学校が統合された場合、その跡地を調節池や遊水地として利用することで、即効性のある対策になると考えますが、市の考えを伺います。

**○建設部長**

準用河川安之堀川の基本計

画では、調節池の必要性についても検討することとなっていますが、まずは、100ミリ安心プランに位置付けられた事業を確実に実施していきたいと考えています。

今後も、安之堀川のさらなる安全度強化を検討するなかで、調節池が必要となった場合には、安之堀川中下流における効果のある位置について検討することも必要になると考えています。

**このほか**

○今後の市債について  
○大沼運動公園グラウンドについて



不動院野にある旧倉松第二調節池



### 学校エアコンの稼働 推進マニュアルについて



木村 圭一  
議員

本年7月より、市内全37校の小・中学校でエアコンの運用が開始され、勉強しやすい環境になることが期待されます。一方で、急激な温度変化などによる健康面の配慮も必要であることから、一定のルール作りが必要と考えます。

例えば、エアコンの温度設定を固定するのではなく、さまざまな学習環境に対応できる弾力的な運用とするなど、運用に関する「稼働推進マニュアル」などを作成してはどうでしょうか。

また、過度にエアコンの利用を控えることの無いようにすべきと考えますが、教育委員会の考えを伺います。

#### ○学校教育部長

エアコンを適切に活用するためには、運用に関するマニュアルなどが必要と考えており、全ての小・中学校で一定の基準に基づいた活用となるように「春日部市立小・中学

校エアコン運用指針」を策定した上で、一斉稼働をしたいと考えています。指針の策定には、児童生徒の健康面だけでなく、省エネルギー化や地球環境も考慮し、温度や稼働期間などを定めます。

エアコンの活用については、運用指針に基づいた運用を図るとともに、それぞれの状況に応じた適切な活用が行われるよう、周知を各学校に行っていくきます。

#### このほか

○市内の公園整備について

○感震ブレイカー設置補助事業について



市内の小・中学校に設置されたエアコン

### 官学連携と地域 コミュニティについて



武 幹也  
議員

地域コミュニティや自治会等の地域活動に取り組む担い手が不足してきています。また、高齢者の自治会からの離脱も多く見られます。地域に住んでいる方や新たに住む大学生や若い方に防災リーダー、クリーンかすかべ推進員などの地域の担い手やリーダーとして活躍してもらおうこと、消防団員や民生委員サポーターになっていただくことについて市の考えを伺います。

また、活動した実績や成果を認めた「活動実績証明書」の発行や感謝状を授与し、就職活動などに使ってもらおうことへの考えを伺います。

#### ○民生生活部長

大学生や若い方が、地域のリーダーや担い手として活躍をいただくためには、自治会活動への参加が有効だと考えています。このため、自治会との接点となるきっかけ作りを検討していきます。

### ○福祉部長

民生委員の活動にご理解とご協力をいただくことは大変重要です。今後、大阪府で予定されている大学生の職業体験の動向や、現職委員のご意見なども参考にしていきます。

#### ○消防長

若い方の消防団への入団は、地域防災力の向上と組織の活性化につながるものと期待できます。実績の認証については、他市の事例なども参考に調査研究をしていきます。

#### このほか

○LED照明について

○障害者差別解消法について

### 女性の活躍推進について



岩谷 一弘  
議員

これからのまちづくりには、女性の視点をしっかりと取り入れることが重要です。そのためには、市の政策決定の場にも多くの女性職員が携わるべきと考えます。これに対する市長、執行部の認識と、今後女性職員の活躍の場をどのように広げていくのかご答弁く

ださい。

#### ○総務部長

女性管理職の登用は、長年の課題となつていて、今年度から女性職員のキャリア形成を支援する職員ワーキンググループを設置します。

このグループメンバーが中心となり、女性職員の育成に主眼を置いた異業種との交流会や講演会などを企画・運営し、実施していきます。こうした活動を通じて、女性管理職の育成を全庁的な取り組みへと発展させるとともに、組織としての機運を高め、職員一人一人の意識改革を図りたいと考えています。

#### ○市長

行動計画に掲げる施策を積極的に推進していきます。

また、職員一人一人の意欲あるいは、個性や能力を最大限に引き出す人事配置を行い、市民の皆さまへのサービス提供に努めていきます。

そのためには、多様な働き方を実現し、全ての女性がより輝く社会となるよう、国と自治体が一体となつて取り組む必要があると考えています。

#### このほか

○マイナンバーカードについて

### 全国市議会議長会表彰

平成28年5月31日に開催された全国市議会議長会第92回定期総会において、次の方が表彰されました。

また、6月定例会の会期中に、表彰状並びに記念品の伝達が行われました。

#### 特別表彰【在職20年】

- 卯月 武彦 議員
- 山崎 進 議員
- 河井 美久 議員

### 議会報告会の開催

市議会では、開かれた議会の実現を目指すため、議会報告会を開催いたします。

また、市議会としての「広聴」の機能を一層拡充するため、議員がグループに分かれて、皆さまからのご意見などを伺う時間も予定しています。

なお、詳細につきましては、今後、広報かすかべや市議会ホームページでもご案内いたします。

市民の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

### 平成28年度 議会報告会日程

開催日	会場	時間帯	担当委員会
10月29日(土)	市民活動センター「ぽぽら春日部」4階 会議室	9時30分～正午	総務委員会
			厚生福祉委員会
			建設委員会
			教育環境委員会

### 今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
5/26	3	上程・説明
6/2	0	質疑
6/7	0	委員会
6/13	23	一般質問
6/20	6	一般質問
6/27	7	一般質問
7/4	9	一般質問
7/11	13	一般質問
7/18	14	一般質問
7/25	16	一般質問
合計	106	討論・採決

### 閉会中の委員会活動

- ▽議会運営委員会  
5月20日  
平成28年6月定例会の運営について
- ▽地域活性化対策検討特別委員会  
5月20日  
現状の把握について  
今後協議を行うテーマの選定について
- ▽新庁舎建設検討特別委員会  
5月20日  
本庁舎整備審議会からの答申について
- 6月23日  
今後の審議の進め方について
- ▽広報広聴委員会  
6月23日  
議会だより第44号の発行について
- 7月4日  
議会だより第44号の発行について
- ▽図書室運営委員会  
6月23日  
平成28年度購入図書の申込みについて

### 傍聴して一言

未来を良くするための真剣な話と感じられ、こんなにも子どもたちの成長を考えているのかと思いました。

男性・62歳

今回の一般質問は、各人バラエティーに富んだ内容で、ぜひ、その回答を聞きたいと思うものが多くみられました。

女性・48歳

学校の振替休日を利用して、以前から少し興味があったので傍聴しました。敷居を高く感じていたものの、身近になり、興味深くなりました。

ただ、質問時間のバランスや、メインの質問を明確にするとかかりやすくなると思いました。

政治の話は気軽ではないですが、楽しく分かりやすく伝えることで、多くの人に興味を持つてもらえると思います。

男性・16歳

※割愛させていただいた部分もあります。

### 編集後記

市議会では、今定例会において委員変更などの議会人事を行い、委員会体制が新しくなりました。

また、10月に開催いたします議会報告会では、新たな試みとして、グループに分かれて皆さまからのご意見なども伺う予定となっております。

新しい委員会体制のもと、広報と広聴の機能を一層強化し、市民の皆さまに身近で開かれた議会の実現に向けて、委員一同努力してまいります。

#### 広報広聴委員会

- 委員長 矢島 章好
- 副委員長 石川 友和
- 委員 水沼日出夫
- 委員 斉藤 義則
- 委員 大野とし子
- 委員 古沢 耕作
- 委員 木村 圭一
- 委員 蛭間 靖造
- オブザーバー
- 議長 会田 幸一
- 副議長 栗原 信司

〒344-8577  
埼玉県春日部市中央六丁目2番地  
春日部市議会  
TEL 048-736-1111(代表)  
内線3116